



桜田門外ノ変
城里町

城里町に関係のある登場人物紹介 ②

増子 金八 (十八烈士)
ましこ きんぱち

文政6年(1823年)〜明治14年(1881年)10月12日/病死
59歳/浪人(元水戸藩士)

金八は桜田事変に参加した18人中、海後磯崎之介とともに生き残って生涯を全うした人物。名は誠三郎。号は正木。大島誠三郎が本姓。父は増子甚八郎武之、母は宇佐美久秀の妹。天保4年4月、初めて藩主斉昭に拝謁する。安政期の勅諭降下や「安政の大獄」後の混乱に、常に尊攘激派に属して行動していた。

襲撃計画に関わったのは万延元年2月、39歳の時。高橋多一郎らの意をうけて石塚から江戸に上る。商人体をして、杉山弥一郎とともに日本橋井筒屋に投宿。後から次々に江戸に集まる同志達のため、潜伏すべき宿を用意したり、夜毎に桜花を描いた提灯を持って目印とし浅草観音にお百度詣りと見せかけたりするなど、苦勞して厳しい監視下での連絡役を果たした。決行当日は黒沢忠三郎の組に入り、左翼(杵築藩邸側)から大老一行を襲撃。剣の腕を発揮して奮戦した。襲撃後は腕や肩に

傷を負ったが浅手であったため現場を脱し西国を目指すも警戒が厳重で叶わず帰郷。商人と偽りながら捕吏の手を逃れて県央・県北の各地で潜伏。明治となつてから石塚村に戻る。事変後の同志達の処分を知り、自分が生きながらえていることに後ろめたさを感じながらも、天下の動きを見極めた後、身を処することを決する。事変に関しては黙して語ろうとしなかった。晩年は体調を崩し同志の冥福を祈りながら、読書と狩猟の余生を過ごした。明治14年病没。墓所は城里町石塚。

参考文献 桜田門外ノ変、維新前史桜田義挙録、桜田烈士銘々伝、桜田烈士伝、水戸市史 中巻(四)、歴史読本1993年5月号
※水戸藩開藩四百年記念『桜田門外ノ変』映画化支援の会より情報提供



▲記念展示館

★オープンロケセット・記念展示館 好評公開中★

映画『桜田門外ノ変』最大の山場、桜田門外での襲撃現場と、背景となる江戸城の桜田門外周辺(桜田門と濠、濠沿いに並ぶ彦根藩・安芸広島藩・杵築藩・米沢藩の大名屋敷など)を再現した日本最大級のオープンロケセットを一般公開しています。

また、場内には記念展示館も併設され、水戸藩や幕末の歴史を紹介するとともに、キャスト紹介や臨場感あふれるロケ風景など、映画『桜田門外ノ変』の世界をご覧ください。お誘い合わせのうえご来場ください。

一般公開 平成23年3月31日まで(予定)
会場 水戸市千波湖畔(水戸市千波町3080番地ほか)
開催時間 午前9時〜午後5時(入場受付/午後4時まで)
料金 大人(中学生以上)/800円、小学生/500円、小学生未満/無料
主催・問合せ 水戸藩開藩四百年記念『桜田門外ノ変』映画化支援の会
☎029-244-3941

※公開期日・時間・内容等は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

★(新)映画製作協力券発売★

映画製作協力券のセット内容が新しくなり、7月下旬(予定)に発売されます。

●新セット価格・・・1,300円

【映画鑑賞券(1,300円)、オープンロケセット・記念展示館入場割引券、映画グッズ1品】

映画製作協力券取扱所 役場産業振興課 ☎029-288-3111(内線381)、

コミュニティセンター城里 ☎029-288-6100、エコ・グリーンショップ響 ☎029-288-7521

問合せ 映画『桜田門外ノ変』城里町支援の会事務局(産業振興課内)

☎029-288-3111(内線381)

十月十六日(土)全国ロードショー! (予定)
茨城県内から発信している映画「桜田門外ノ変」は無事すべての撮影を終え、現在編集作業が進められています。